

## ★私たちが疑いもせず「そうだ」と思い込んでいるようなことはないだろうか？

①テレビが言っていることを鵜呑みにしていないか？ テレビが言っていることが常に正しいとは限らない。(例) 鷺一雄『また「あるある」にダマされた』を参照。

②政府が言っていることを鵜呑みにしていないか？

(例)「尖閣諸島は日本の固有の領土」と政府は言うが、本当だろうか？ ちなみに日本が尖閣諸島の領有を宣言したのは日清戦争の時であり、沖縄の支配開始より後のことである。「固有の領土」にふさわしいのは本州・四国・九州までではないか。さらに言えば、戦後日本はポツダム宣言によって国境の決定権を失っており、尖閣諸島が日本の領土であるかどうか日本政府に決定権はない、という解釈もあり得る。(孫崎享『日本の国境問題』参照)。

(例)「日本国憲法は押しつけられたもの」と一部の政治家は言うが、本当だろうか？ GHQ草案は、もともと自由民権運動の植木枝盛が作った憲法草案を基礎に、日本の知識人グループが作った「憲法研究会」案がもとになっていた。またGHQ草案から作られた日本政府案は、帝国議会で審議され、新たな条文を加えるなど修正がなされたのちに「日本国憲法」になった。それでも「押しつけられた＝有無も言えず丸飲みさせられた」と言うのだろうか。

③他にも、「沖縄に米軍基地は必要だ」、「原発は必要だし安全だ」、「慰安婦の強制連行は無かった」、「南京大虐殺はねつ造だ」、「結婚したら夫婦は同姓が当たり前だ」、「男は強くなければならない」、「女は優しくなければならぬ」、など多数の「当たり前」が世の中には氾濫している。しかしいずれも本当にそうなのだろうか？ 真剣に調べた(考えた)ことがあるか？

④ちなみに中国には「中国人は政府が本当のことを言っても信じないが、日本人は政府がウソを言っても信じる」という冷やかな言葉があるそうだ。「お父さんが違うと言っているからサンタさんはお父さんじゃない!」と信じこんでいる幼児と同じレベルに見られているのだろうか。しかしそれに反論できるほど日本人は真剣に正義と真実を追求しているか。戦前の多くの日本人は、軍が発表する事実と違う内容の戦況報告「大本営発表」を真実と思い込み勝利を固く信じていたそうだが、戦後の日本人は「大本営発表」を笑えるほど成長しているだろうか。モンテニユの時代の(愚かな)ヨーロッパ人と同じレベルであってはならない。

## ★「年間の自殺者が3万人」ニュースへの反応、幾何学的精神と繊細の精神の違いは？

「自殺者は全人口の約4000分の1で、交通事故死者のほぼ6倍だ」と計算するか、

「自殺者を憐れみ、自殺した理由や、その社会的背景」を考えようとするか、の違い。